

事業番号	15 08 02	事業改善シート(令和4年度実施事業)		□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検	
事業名	社会教育施設事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	文化財・生涯学習課
		実施期間	S24 ~	E-mail	bunsho@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	1-4 生涯を通じて学べる環境の整備				

1 現状と課題

目指す姿	<第3次長野県教育振興基本計画> 「県民が生涯にわたって学び続け、地域の課題解決を主体的に担うことができる力を身に付けられるようにする」 「子どもたちが豊かな自然や地域の文化を効果的に体験できる環境を整備する」	
これまでの取組	・生涯学習推進センターにおいて、地域課題への対応や、持続可能な地域づくりを中核的に担う人材を養成 ・県立図書館が市町村図書館や学校図書館等と連携しながら、多様な情報や人がつながり、アイデアを形にしていく「知と創造の場」としての図書館づくりを推進 ・少年自然の家を様々な体験学習拠点の場として位置付け、指定管理者と連携して特色ある自主事業を実施するなどして、自然を愛する心情を育むとともに、自然の不思議さや素晴らしさを実感できる教育を推進	
令和3年度の点検結果・現状分析	課題	今後の方向性
	・生涯学習推進センターの目的である「日本一を誇る公民館等のレベルアップ、本県の強みである地域のつながりの維持強化」「地域を担う次世代の育成と、シニア層の参加促進による地域教育力の強化」をさらに進める必要がある。 ・県立長野図書館は、市町村図書館等へのサポートや、レファレンスおよび各種情報資源の収集・保存・活用において、ICT活用やデジタル化を図り、県民の知の拠点としての役割を果たしていく必要がある。 ・コロナ禍で子どもたちの体験的な学習の機会が減っており、遠出が難しくなっている中で、県内の子どもたちの体験的な活動の場所を維持するため、少年自然の家における安全・安心な施設の運営を維持する必要がある。	・公民館活動等を通じ、持続可能な地域を支える人材の育成。 ・サービス及び情報資源のデジタル化により機能の深化を図るとともに、市町村図書館等との連携を進めながら県民の知の拠点としての役割を果たしていく。 ・経年劣化した施設の計画的な修繕、改修の実施、県民への施設のPR、教育機関・国立信州高遠青少年自然の家・NPO法人等民間団体との関係強化を図りながら自主事業の充実を図り、長期的なあり方検討。

2 令和4年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	✓ 生涯学習推進センターの講座を充実 オンラインと対面を有効に組み合わせ、コロナ禍で顕在化した課題を取り上げ、内容の充実を図る ✓ 県立長野図書館のサービス・情報資源のデジタル化推進 市町村との協働による電子図書館構築事業をはじめとするデジタル化推進を図るとともに、「信州・学び創造ラボ」の運営およびフォーラムの開催、またリテラシープログラム開発等を進め、県民の知の拠点としての役割を果たす ✓ 少年自然の家の体験活動の充実 指定管理者と連携して、教育効果・専門性の高い体験プログラムの開発・普及や自主事業の充実を図る
DX,ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組	【DX】県立長野図書館;電子図書館構築事業の実施により、DXの取組を推進 【学びの県づくり】 ・生涯学習推進センター;生涯学習の推進により、学びの県づくりを推進 ・少年自然の家;長野県の風土を生かした自然教育・野外教育、団体宿泊訓練の場を提供し、学びの県づくりを推進

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、-:数値なし]								区分(単位:千円)					
No	成果指標	単位	R1年度	推移	R2年度	推移	R3年度(見込)	R4年度目標値	R2年度	R3年度	R4年度		
1	生涯学習推進センター指導者養成研修受講者数	人	2,925	↓	1,816	↑	2,800	2,500	前年度繰越	0	0	要求	393,996
2	県立長野図書館県内公共図書館調査相談件数	件	85,011	↓	63,189	-	(R4.9頃判明)	82,000	当初予算	663,728	381,242	予算案	406,710
3	少年自然の家における自主事業実施回数	回	53	↓	34	↑	54	55	補正予算	-153,702	0	要求	393,996
4									合計(A)	510,026	381,242	予算案	406,710
5									うち一般財源	427,127	251,030	要求	380,006
									決算額(B)	409,509		予算案	372,720
									職員数(人)	25.0	25.0		25.0

設定理由	1. 生涯学習センター:県民の学ぶ場として、講座の利用状況を把握するために研修受講者数を指標に設定 2. 県立長野図書館:地域の情報拠点としての図書館活動状況を把握するため県内公共図書館調査相談件数を指標に設定 3. 少年自然の家:体験プログラムの開発・普及の状況を把握するため自主事業実施回数を指標に設定
目標値	1. コロナ禍でのオンライン開催のノウハウを生かし、令和3年の目標値を上回る数値を設定 2. しあわせ信州創造プラン2.0策定前過去10年間の同指標平均値の10%増となる数値を設定 3. 現状を上回る数値を設定

予算要求からの主な変更点	市町村との協議状況等を考慮し、電子図書館構築事業の書籍購入費を増額
--------------	-----------------------------------

事業番号	15 08 02	事業改善シート (令和4年度実施事業分)	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	社会教育施設事業費		部局	教育委員会事務局	課・室	文化財・生涯学習課

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算		
1	生涯学習推進センター事業費	12,804 千円	12,964 千円	要求 予算案	12,988 12,988 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)			
1	指導者養成等の研修事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・遠隔の市町村を考慮した移動講座の実施 ・住民相互の支援を基盤とする県政課題に対応する講座の実施 30講座 地域づくり推進研修 21講座 学校と地域の連携推進研修 2講座 地域の教育力向上研修 7講座 			
2	施設管理運営事業	直接	・生涯学習推進センターの管理・運営			
3	社会教育主事講習(地方会場)実施事業	直接	・国立教育政策研究所社会教育実践センターが実施する社会教育主事講習(文部科学省委嘱資格付与講習)の地方会場として、講座開催			

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算		
2	県立長野図書館事業費	276,116 千円	263,832 千円	要求 予算案	186,062 198,776 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)			
1	図書館事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村と県による協働電子図書館(仮称)の構築・運営および調査研究用図書(学術・専門書等)の電子書籍導入 ・開かれた学びの場としての「信州・学び創造ラボ」の運営 ・県民の学びを創発するフォーラム開催および市町村図書館等と連携した研修の企画実施による人材育成 			
2	コンピュータ管理事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・「信州・知のポータル“信州ナレッジスクエア”」の運用・充実 ・leサポート終了に伴う更新業務システム改修 ・業務用コンピュータシステムの管理運用 			
3	管理運営事業	直接	・県立長野図書館の管理・運営全般			

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算		
3	青年の家・少年自然の家管理運営費	374,808 千円	104,223 千円	要求 予算案	194,946 194,946 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)			
1	少年自然の家運営事業(指定管理委託料)	指定管理	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者が青少年教育施設としての機能を維持・管理し、多様な体験プログラムの利用者への提供に必要な経費の一部を支出 ・指定管理者:望月・信州リゾートサービス(株)、阿南・阿南町 			
2	青年の家(松川)施設移管に伴う補助金の交付	補助金	・旧松川青年の家の施設改修工事について松川町に補助金を交付。			
3	少年自然の家修繕工事	直接	・望月少年自然の家:下水処理設備改修工事設計			